

スラーとレガートについて

書式	解説
&	スラー
(レガートオン(スラー開始)
)	レガートオフ(スラー終了)

「&」はスラーです。音符コマンドの直後に付けたときのみ有効となりますので、ご注意ください。
音符コマンド以外に付けたときは、その直前の音符コマンドでの指定が持続されます。

[例] c&v12&d ; c&v12d 相当 (cのスラーが持続し、cとdが繋がる)
[例] cv12&d ; cv12d 相当 (cにスラーがないので、cとdは繋がらない)

「(」と「)」はレガートのオン/オフです。複数の音符をスラーで繋げるときは、レガートを使うと柔軟に表現できます。

[例] (c4d16e8)f2 ;c4&d16&e8&f2 相当
[例] c4(d16e8)f2 ;c4d16&e8&f2 相当
[例] c4(d16)e8f2 ;c4d16&e8f2 相当

なお、同じ音程の音符を繋げる場合は「^」のタイを推奨します。